令和５年９月　ＰＴＡ運営委員会　校長挨拶

ＰＴＡ運営委員会の皆様には日頃から本校の教育活動に多大なご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、5 年にわたる新校舎改修工事がこの 8 月に落成を迎え、9 月 2 日には、コロナ禍で途絶えていた地域行事「夏まつり」が、広い校庭のもと、4 年ぶりに開催されました。感無量のことでございます。

みなさまに少しだけ報告をさせていただきます。

コバ建設をはじめとする工事業者、練馬区学校施設課の方々には、約 5 年間にわたる新校舎の改修工事が安全、安心に執り行われ子供たちの教育活動が円滑に推進されるよう、ご支援をいただきました。この間のうちの 3 年間は「コロナとの闘い」でもありました。延べ千人を優に越える工事、行政関係者の方々が関わった工事は、想像を絶する苦難や難題の連続でもありました。その中でも、１００回を越える関係者による会議での最優先となる検討事項は「関北の子供たちのために」でした。工事に関わった全ての方が、仕事の枠を越えて「子供たちの笑顔」のために尽力をされていること「頭が下がる日々」でした。

そういったことを全人教育の題材として随時、様々な機会に子供たちに伝えてきました。

今でも来校をされるお客様からは「きれいな校舎ですね」「すてきですね」「うらやましいです」と言ってくださいます。これは本校の高学年がリーダーとなって、旧校舎、仮設校舎を経験し、多くの方々の努力や苦労の上に、この校舎があるということを誰よりも理解し、感謝の気持ちを行動として現わし、校舎の全体の環境整備の手本となっているからに他なりません。

昨日、5 年ぶりに、子供たちが笑顔で元気に走り回る姿を目の当たりにし、胸に込み上げるものがありました。

周年の祝賀行事は 10 年に一度、校舎の改修工事は 100 年に一度と言われています。きたる 11 月 2 日の午後からは、新校舎落成記念行事の開催を予定しています。

新校舎のウォークラリーを皮切りに、関中、石神井高校、東京女子学院とコラボしたパフォーマンス、フィナーレには、新校舎に向けたプロジェクションマッピングを行います。ＰＴＡの皆様からいただいた予算を礎として、6 月からは、「関北にゆかりのある方々」から多くの賛助金を頂戴しました。予算面でも十分に円滑に実施できる見込みとあいなりました。みなさまの熱い思いに感謝を申し上げます。関北の過去、現在、未来へとつなぐ「学校と地域がより深い絆を結ぶ」機会となるよう努めてまいります。

1 年で一番長い 2 学期。5 年生の軽井沢移動教室を皮切りに、数年ぶりに広い校庭で開催する運動会など、行事も目白押しとなります。日除け対策でいただいた「六張テント」を大切に使わせていただきます。

今学期もご支援のほど、何卒、どうぞよろしくお願いいたします。